

アクセス・フォー・オール構想案 Access for All

2023年2月9日理事会

Japan Football Association



世界の動向

- 国際サッカー連盟 (FIFA) が、FIFAワールドカップカタール2022にて、全64試合でアクセシビリティ対応の観戦シートを提供。
- FIFAにはアクセシビリティ担当者を配置 (2022年カタールでの情報)。
- ヨーロッパサッカー連盟 (UEFA) 加盟国、およびクラブチームを対象として、アクセス・フォー・オール (スタジアムのガイドライン) を推進。
- イングランドサッカー協会 (The FA) では、LGBTQ、女性、障がい者などをターゲットにしたさまざまな戦略を打ち出している。例えば、2021年に障がい者に対する4年のStrategy、Football your way、女子に対するワイルドキャッツなど。障がい者の担当部署もThe FA内に設置されている。

「Access for All (AfA)」構想

「Access for All (AfA)」構想

誰もが当たり前前にサッカーにアクセスできる
多様な「機会」と「選択肢」を持続的に届けることで、
豊かなスポーツ文化と共生社会の創造に寄与する

【AfAの対象者】すべてのマイノリティーを含む、サッカーファミリーの全員
ジェンダー(女性、性的志向等)、年齢、障がい、外国人(人種)、宗教、社会経済階級(貧困)

*たとえば、インターセクショナルリティーという視点もあり、対象とするグループを限定せず、一方で、特定のグループの視点も踏まえた戦略を打ち出す

【ワーキンググループの立ち上げ】横断的取り組みが必要であるため、会長直下のワーキングがAfA宣言に基づいた戦略・アクションプラン (Strategy and Action Plan)をつくり、実際にそのアクションプランが実現できているかをモニタリング、評価する。WGが理事会に活動の報告。

AfA実現のためのアクションプラン(案)

WG設置

2023年

① 組織を横断した推進体制構築

JFA、JIFF、Jリーグ、WEリーグ、Fリーグが組織を横断して連携を図るための会議体の設置（WGの設置）

国内外の好例の検証、ならびに実態調査（課題抽出）・トライアル

Strategy and Action Planの取りまとめ（アクセシビリティコードを作成）

AfA宣言

2024年1月

② 2005年宣言を実現するものとして、そして2014年のグラスルーツ宣言から10年を機に、またより具現化するものとして全カテゴリー、全対象者を含む、より発展的なアクセス・フォー・オール宣言

JFA、JIFF、Jリーグ、WEリーグ、Fリーグが共同して意思表示

* Strategy and Action Planの公表

アクション

2024~2025年

③ 実行計画の策定アクションプランのモニタリングに必要な評価項目（アクセシビリティコード）に対する評価の実施（場合によっては対象グループを限定的にする）

フィードバック

Strategy and Action Planおよびアクセシビリティコードは4年ごとに見直し。

今後の戦略プラン(案)

2023

AfA宣言およびStrategy and Action PlanのためのWG設置

2024

AfA宣言およびStrategy and Action Planの公表

2025

Strategy and Action Planに基づく活動・評価

2026

Strategy and Action Planに基づく活動・評価

2027

Strategy and Action Planの見直し

2028

Strategy and Action PlanのRevision版公表

2029

2030

2031

2032

2033

第1期

第2期

アクセシビリティはサッカーに係るすべての人の権利

アクセシビリティはサッカーに係るすべての人の権利
Accessibility means football rights for all people.

	テーマ	補足事項(障害者サッカーを例に)	共通する項目
する	<ul style="list-style-type: none">・サッカーを楽しむ(グラスルーツ)、挑戦(育成、強化)できる・クラブに所属できる	<ul style="list-style-type: none">・誰もが自分の能力や志向に応じたサッカーへの挑戦が妨げられないこと。・誰もがサッカーに挑戦すること。本人が望まない状況で諦めないような支援体制の構築。・日々の練習環境の整備・安心安全な環境の整備・学校体育でも見学ゼロへ。・部活動等でも安定的に持続的に活動に参加	<ul style="list-style-type: none">・情報保障・～に行ける(移動等)・～のメンバーとして活動できる(クラブのメンバーとして活動できる等)・仲間や家族と共に活動できる(場の保障)
みる	サッカー観戦を楽しむ	<p>サイトラインの確保、視覚や聴覚障がいの人への情報保障、動線の確保、センサリールームの設置等</p> <ul style="list-style-type: none">* FIFAやUEFA等のアクセシビリティ担当者と連携* Jリーグ、WEリーグ、Fリーグ、地域で開催されている大会も含む(応援機会の保障)* 仲間と試合の観戦	
ささえる	指導者として、スタッフ、サポーターとしてサッカーに係る活動に従事することができる	<ul style="list-style-type: none">・誰もが自分の能力や志向に応じたサッカーへの挑戦が妨げられないこと。・サッカーファミリーの一員として、サッカーにかかわるすべての活動に支障がない環境の整備(普及、育成、強化全カテゴリーにおいて)・サッカーに係るすべての組織に働く場の拡大	

WGのコアメンバー(調整中)

- AfAの対象範囲が幅広いため、2023年に「障がい者のアクセシビリティコード」を立ち上げるなど、テーマを絞る。
- 必要に応じて、WGのメンバーの増員や別途プロジェクトチームを立ち上げるなどの対応をする。プロジェクトチームが取りまとめた案をWGに報告。WGから理事会に報告。
- WG会議、プロジェクト会議にもオブザーバー参加を認める。

所属	候補者	補足
JFA	日比野理事	JIFF・リスペクトフェアプレー委員会
JFA	今井理事	女子委員会・WEリーグ・リスペクトフェアプレー委員会
JFA	調整中	技術委員会
JFA	調整中	審判委員会
Jリーグ	調整中	
WEリーグ	調整中	
Fリーグ	調整中	

アクセス・フォー・オール宣言(案)

2005年宣言、そして2014年のグラスルーツ宣言から、より積極的な次のステップとして、**2024年1月**にアクセス・フォー・オール宣言を出します。

アクセス・フォー・オール宣言 (案)

誰もが当たり前前にサッカーにアクセスできる
多様な「機会」と「選択肢」を持続的に届けることで、
豊かなスポーツ文化と共生社会の創造に寄与する

1. 日本サッカー協会は、サッカーを愛するすべての人がサッカーにアクセスし、誰もがサッカーを楽しみ挑戦できる、多様な「機会」と「選択肢」を持続的に届け、豊かなサッカー文化と共生社会の創造に寄与していきます。
2. ダイバーシティ&インクルージョンの推進において、世界のモデルとなります。

Memo 届ける（デリバリー）に込めた思い

イギリスなどの政策では、支援（サポート）よりもデリバリー（Delivery）が用いられる。

「届かないと意味がない」一人ひとりが届けられたものにしっかりと繋がることできる。

そうしたフットボール界になれば。



Thank you.